

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞（案）

東郷町地域公共交通計画の評価等結果（令和3年4月～4年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
公共交通全体の利用者数： 214万人（令和元年度）→ 214万人（令和8年度）	幹線バスのバスターミナル乗 入れ、東郷・藤田医大バスの 新設	バス事業者の有す る乗降データ	・1,739,641人（令和3年度） ・令和2年度の1,735,044人より向 上したが、新型コロナウイルス感染 症の影響により伸び悩んだ。 ・令和3年4月に巡回バス路線を再 編し、ららぽーと愛知東郷への乗り 入れを開始したことで、利用者数が 増加。	・引続き、新型コロナウイルス感染症対策を徹 底しながら、再編後の路線・ダイヤによる運行 を継続。 ・令和8年度の目標達成に向け、転入者への公 共交通情報の提供や、出前講座（バスの乗り方 教室等）等イベントでのPR活動を実施予定。	評価年度を令和8年 度としているが、令 和3年度の内容を記 載。
都市拠点内のバス停利用者 数： 1,015人/日（令和2年度）→ 1,200人/日（令和8年度）	待合・乗継・乗降環境の整備		・1,194人（令和3年度） ・拠点の一つである、「ららぽーと 愛知東郷」バス停にベンチを設置 し、待合・乗継・乗降環境の向上を 図った。	令和8年度の目標達成に向け、GTFSデータの継 続的な更新やバスロケーションシステムの運用 等、引続き利用者の利便性向上に努める。	
庁内他部署や複数の実施主 体が連携・協働した取組の 件数： 9件/年（令和元年度）→12 件/年（令和8年度）	デマンド型交通の導入、商業 事業者と連携した利用促進策 の展開	連携・協働した取 組の件数	・11件（令和3年度） ・デマンド型交通の実証実験に伴 い、庁内他部署や地域包括支援セン ターと連携して事業をPR。商業事業 者と連携したバス利用促進イベント や近隣市の公共交通担当者と会議を 実施。	・引続き連携・協働を継続する。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で出前講座 等を実施できなかったが、状況をみながら開催 したい。	
じゅんかい君の満足度（不 満割合）： 19.3%（令和2年度）→ 19.3%未満（令和8年度）	—	—	—	—	令和5年度の間評 価時及び令和8年 度に調査予定

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（○年○月～○年○月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「—」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。